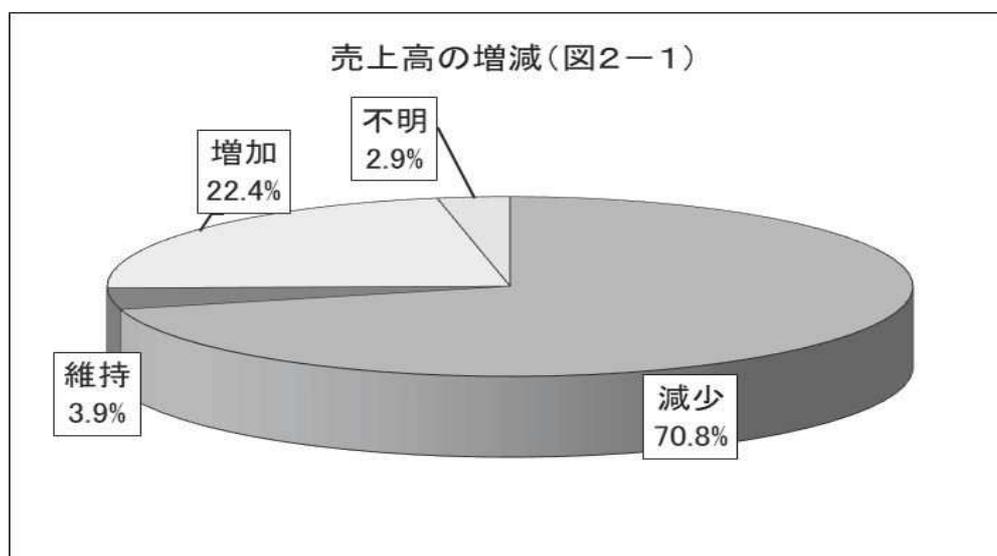


2 営業成績の状況

(1) 売上高の増減

仲卸業者全体のうち、22.4%の業者が前期に比べ売上高が増加した。一方で、70.8%の業者が売上高を減少させている。前年と比べると、増加した業者の割合は1.9ポイント上昇し、減少した業者の割合は0.6ポイント上昇している。

※ 前年調査 増加20.5%、維持3.4%、減少70.2%、不明5.9%



取扱品目別にみると、水産物、青果物及び食肉では売上高が減少した業者数が増加した業者数を上回り、花きでは増加した業者数と減少した業者数が同率であった。

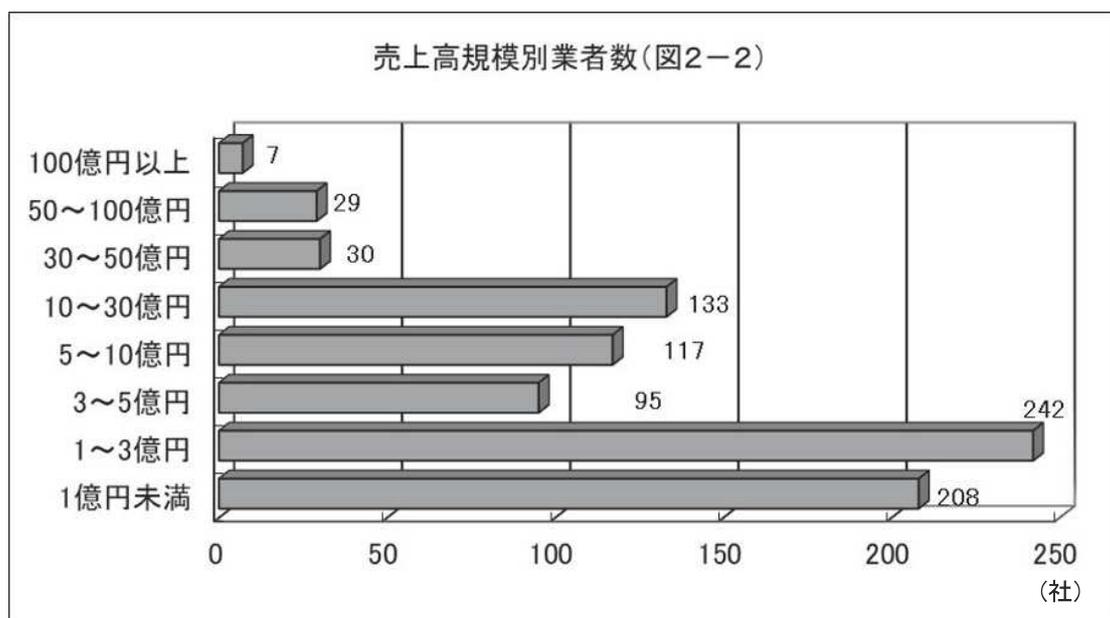
取扱品目別・売上高の増減(表2-1)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全 体	22.4%	3.9%	70.8%	2.9%
水 産 物	14.6%	1.9%	81.3%	2.2%
青 果 物	30.9%	7.6%	56.7%	4.8%
花 き	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
食 肉	41.7%	4.2%	54.1%	0.0%

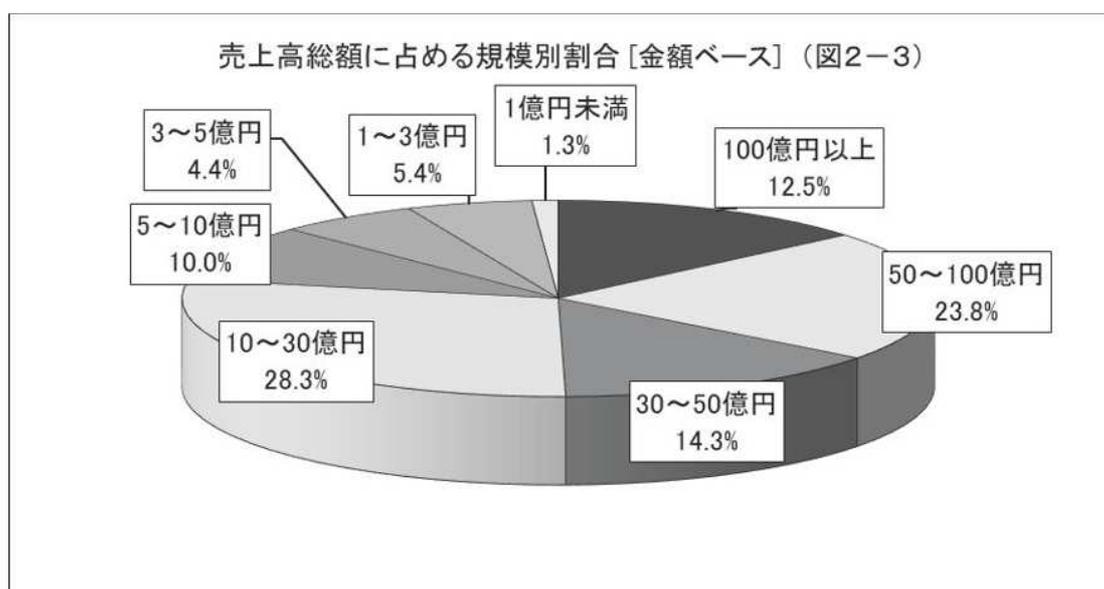
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(2) 売上高の規模別業者数

仲卸業者全体のうち、売上高1億円以上3億円未満の業者が最も多い。また、売上高が3億円未満の業者で全体の52.3%(450社)を占めている。



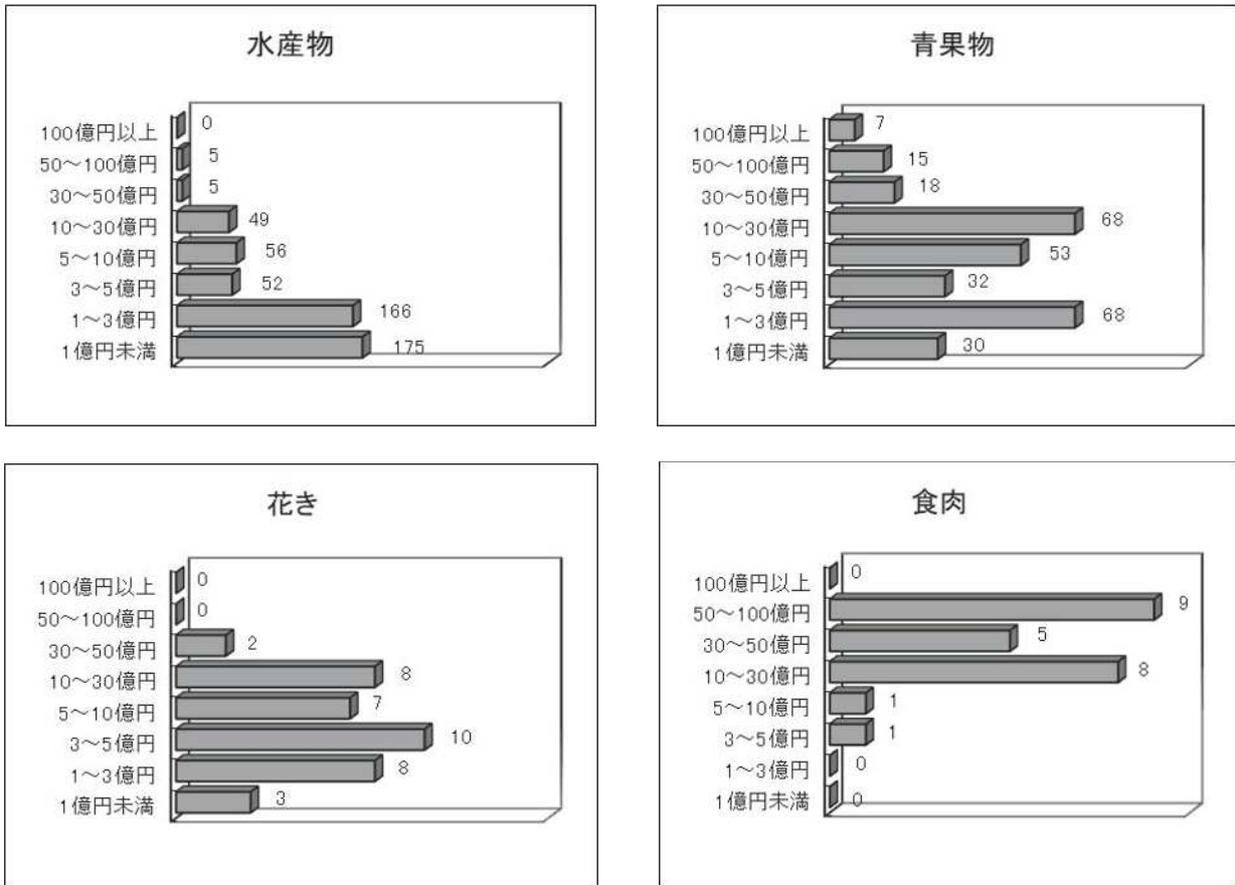
金額ベースにした売上高総額に占める規模別割合で見ると、半数近くを占める売上高3億円未満の業者のシェアは6.7%に留まっている。



(3) 売上高の規模別・取扱品目別業者数

取扱品目別にみると、水産物では売上高1億円未満の層が、青果物では10億円以上30億円未満及び1億円以上3億円未満の層が、花きでは3億円以上5億円未満の層が、食肉では50億円以上100億円未満の層が最も多くなっている。

売上高規模別・取扱品目別業者数（図2-4）



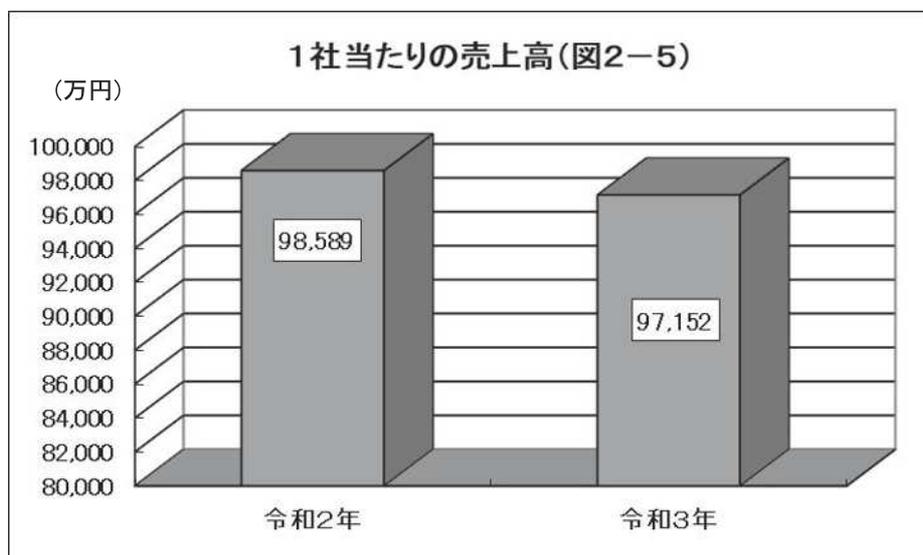
売上高規模別・取扱品目別業者数（表2-2）

単位：社

	全 体	水 産 物	青 果 物	花 き	食 肉
100億円以上	7 (0.8%)	0 (—)	7 (2.4%)	0 (—)	0 (—)
50～100億円	29 (3.4%)	5 (1.0%)	15 (5.1%)	0 (—)	9 (37.5%)
30～50億円	30 (3.5%)	5 (1.0%)	18 (6.2%)	2 (5.2%)	5 (20.8%)
10～30億円	133 (15.4%)	49 (9.7%)	68 (23.4%)	8 (21.1%)	8 (33.3%)
5～10億円	117 (13.6%)	56 (11.0%)	53 (18.2%)	7 (18.4%)	1 (4.2%)
3～5億円	95 (11.0%)	52 (10.2%)	32 (11.0%)	10 (26.3%)	1 (4.2%)
1～3億円	242 (28.1%)	166 (32.7%)	68 (23.4%)	8 (21.1%)	0 (—)
1億円未満	208 (24.2%)	175 (34.4%)	30 (10.3%)	3 (7.9%)	0 (—)
合 計	861	508	291	38	24

(4) 1社当たりの売上高

仲卸業者全体の1社当たりの売上高は、前年の9億8,589万円から9億7,152万円と、1,437万円(1.5%)減少した。



取扱品目別にみると、前年に比べ青果物及び花きは増加し、水産物及び食肉は減少した。

1社当たりの売上高 (表2-3)

	令和2年	令和3年	対前年比
全 体	98,589 万円	97,152 万円	98.5%
水 産 物	50,962 万円	46,042 万円	90.3%
青 果 物	160,846 万円	164,121 万円	102.0%
花 き	79,841 万円	81,137 万円	101.6%
食 肉	409,600 万円	392,333 万円	95.8%

(5) 売上総利益率の変化

売上総利益率(いわゆる粗利益率)は、全体では前年に比べ0.26ポイント下降した。取扱品目別にみると、水産物、花き及び食肉では下降し、青果物ではほぼ同率であった。

売上総利益率(表2-4)

	令和2年	令和3年
全 体	13.36%	13.10%
水 産 物	15.56%	15.17%
青 果 物	12.93%	12.92%
花 き	18.95%	18.76%
食 肉	7.82%	7.01%

売上総利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合をみると、全体では上昇した業者数が下降した業者数を上回った。取扱品目別では、水産物及び青果物は上昇した業者数が下降した業者数を上回り、花き及び食肉は下降した業者数が上昇した業者数を上回った。

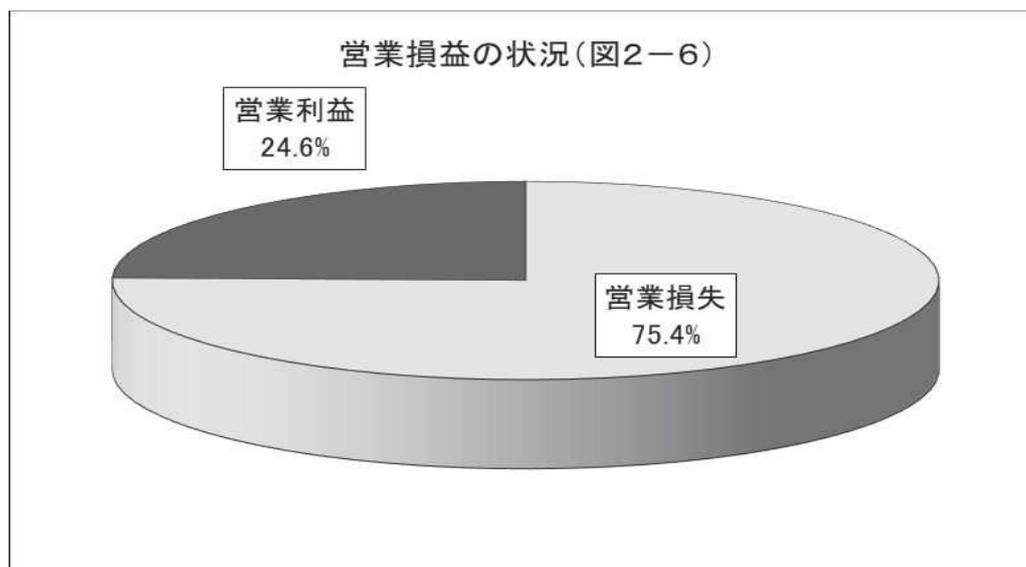
売上総利益率の変化(表2-5)

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	51.9%	45.2%	2.9%
水 産 物	56.5%	41.3%	2.2%
青 果 物	48.5%	46.7%	4.8%
花 き	31.6%	68.4%	0.0%
食 肉	29.2%	70.8%	0.0%

(6) 営業損益の状況

営業利益(黒字)を計上した業者の割合が24.6%、営業損失(赤字)を計上した業者の割合が75.4%となり、前年に比べ黒字となった業者の割合が減少した。

※ 前年調査 黒字:赤字 = 33.3% : 66.7%



取扱品目別にみると、水産物、青果物及び花きでは半数以上の業者が赤字となり、食肉では半数以上の業者が黒字となった。

営業損益の状況(表2-6)

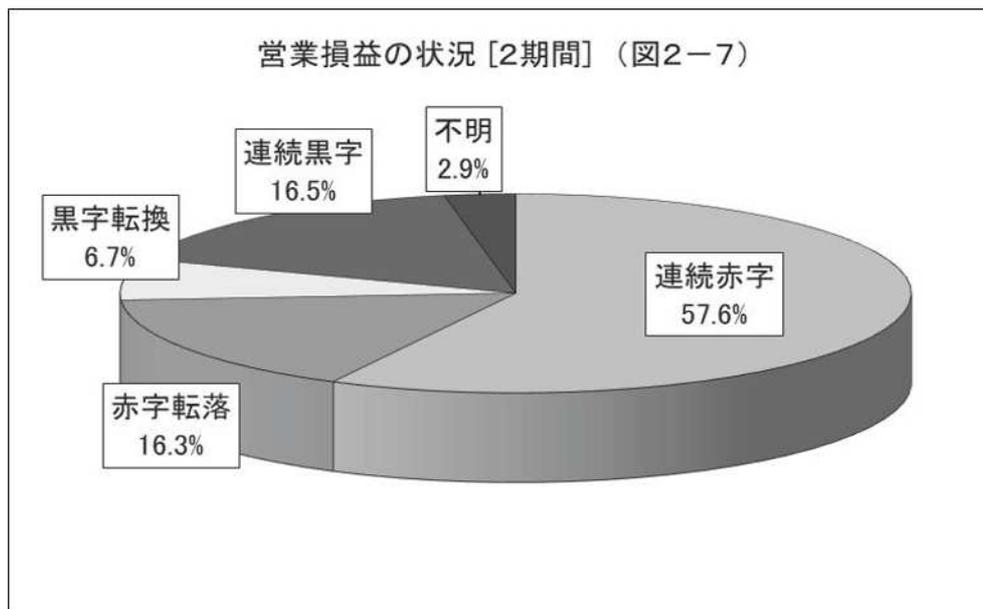
() 内は前年調査の数値

	営業利益 [黒字業者]	営業損失 [赤字業者]
全 体	24.6% (33.3%)	75.4% (66.7%)
水 産 物	16.5% (26.5%)	83.5% (73.5%)
青 果 物	33.7% (42.3%)	66.3% (57.7%)
花 き	39.5% (31.6%)	60.5% (68.4%)
食 肉	62.5% (75.0%)	37.5% (25.0%)

(7) 営業損益の状況(2期間)

営業損益が2期連続して黒字計上となった業者は16.5%、2期連続して赤字計上となった業者は57.6%となった。黒字に転換した業者は6.7%、赤字に転落した業者は16.3%となった。

※ 前年調査 連続黒字22.5%、黒字転換8.7%、赤字転落20.7%、連続赤字42.4%、不明5.7%



取扱品目別にみると、2期連続して黒字となった業者の割合は、食肉が最も多かった。黒字に転換した業者の割合は花きが最も多く、赤字に転落した業者の割合は食肉が最も多かった。また、2期連続して赤字となった業者の割合は、水産物が最も多かった。

営業損益の状況(2期間)(表2-7)

()内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全 体	16.5% (22.5%)	6.7% (8.7%)	16.3% (20.7%)	57.6% (42.4%)	2.9% (5.7%)
水産物	10.2% (15.6%)	5.5% (8.8%)	16.3% (22.2%)	65.8% (47.4%)	2.2% (6.0%)
青果物	24.7% (31.7%)	6.2% (8.1%)	15.5% (16.5%)	48.8% (37.3%)	4.8% (6.4%)
花 き	18.4% (23.7%)	21.1% (7.9%)	13.1% (34.2%)	47.4% (34.2%)	0.0% (0.0%)
食 肉	45.8% (58.3%)	16.7% (16.7%)	29.2% (16.7%)	8.3% (8.3%)	0.0% (0.0%)

(8) 営業利益率の変化

営業利益率は、全体では前年に比べ下降した。取扱品目別にみると、水産物、青果物及び食肉では下降し、花きでは上昇した。また、水産物及び花きでは2期連続してマイナスとなった。

営業利益率(表2-8)

	令和2年	令和3年
全 体	△0.03%	△0.41%
水 産 物	△1.26%	△2.17%
青 果 物	0.54%	0.42%
花 き	△0.68%	△0.36%
食 肉	0.74%	△0.31%

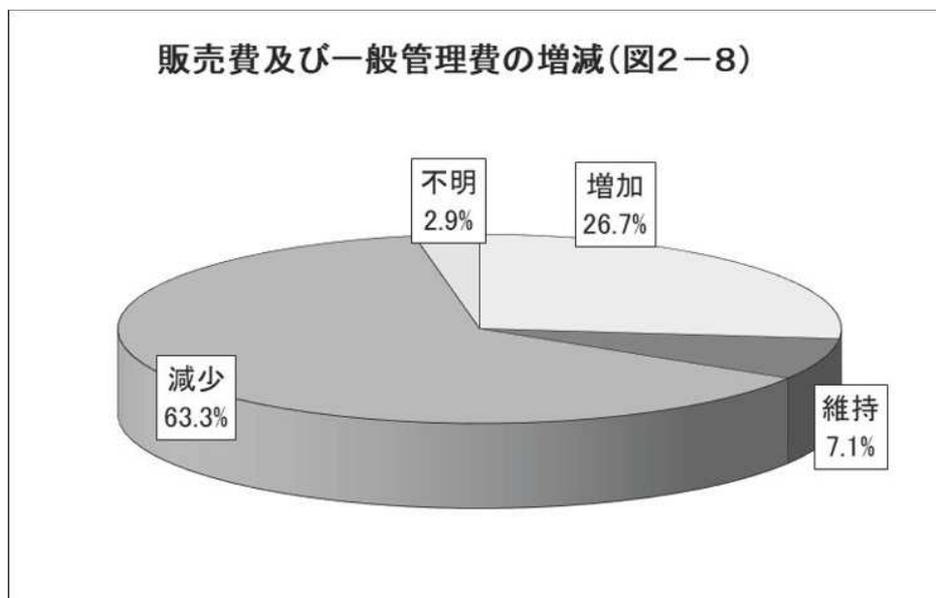
営業利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合を取扱品目別にみると、全ての品目において下降した業者数が半数を超えた。

営業利益率の変化(表2-9)

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	31.6%	65.5%	2.9%
水 産 物	27.1%	70.7%	2.2%
青 果 物	38.2%	57.0%	4.8%
花 き	47.4%	52.6%	0.0%
食 肉	20.8%	79.2%	0.0%

(9) 販売費及び一般管理費の増減

販売費及び一般管理費が減少した業者は63.3%、増加した業者は26.7%となった。



取扱品目別にみると、全ての品目で減少した業者数が増加した業者数を上回った。

販売費及び一般管理費の増減(表2-10)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全 体	26.7%	7.1%	63.3%	2.9%
水 産 物	21.8%	6.5%	69.5%	2.2%
青 果 物	33.7%	8.9%	52.6%	4.8%
花 き	39.5%	2.6%	57.9%	0.0%
食 肉	25.0%	4.2%	70.8%	0.0%

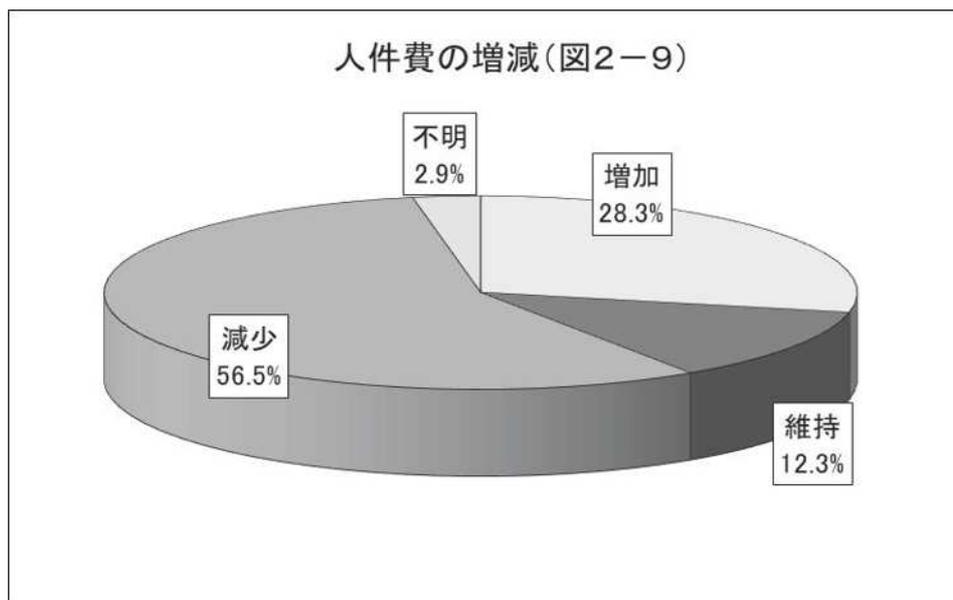
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(10) 人件費の増減

人件費(※)が減少した業者は56.5%、増加した業者は28.3%、維持した業者は12.3%となり、減少した業者が増加した業者を上回った。

※ 人件費 役員報酬、給与手当、福利厚生費、退職共済掛金 等

※ 前年調査 減少48.3%、増加32.4%、維持13.6%、不明5.7%



取扱品目別にみると、水産物、青果物及び花きでは減少した業者数が増加した業者数を上回った。また、食肉では増加した業者数と減少した業者数が同率であった。

人件費の増減(表2-11)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全 体	28.3%	12.3%	56.5%	2.9%
水 産 物	22.4%	13.2%	62.2%	2.2%
青 果 物	37.4%	10.7%	47.1%	4.8%
花 き	31.6%	5.3%	63.1%	0.0%
食 肉	37.5%	25.0%	37.5%	0.0%

※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(11) 人件費比率の変化

売上高対人件費比率は、全体では前年に比べわずかに上昇した。取扱品目別にみると、水産物及び食肉では上昇し、青果物及び花きでは下降した。

売上高対人件費比率(表2-12)

	令和2年	令和3年
全 体	6.90%	6.92%
水 産 物	9.52%	9.98%
青 果 物	6.00%	5.95%
花 き	10.58%	10.45%
食 肉	3.01%	3.06%

売上総利益対人件費比率は、全体では前年に比べ上昇した。取扱品目別にみると、水産物及び食肉では上昇し、青果物及び花きでは下降した。

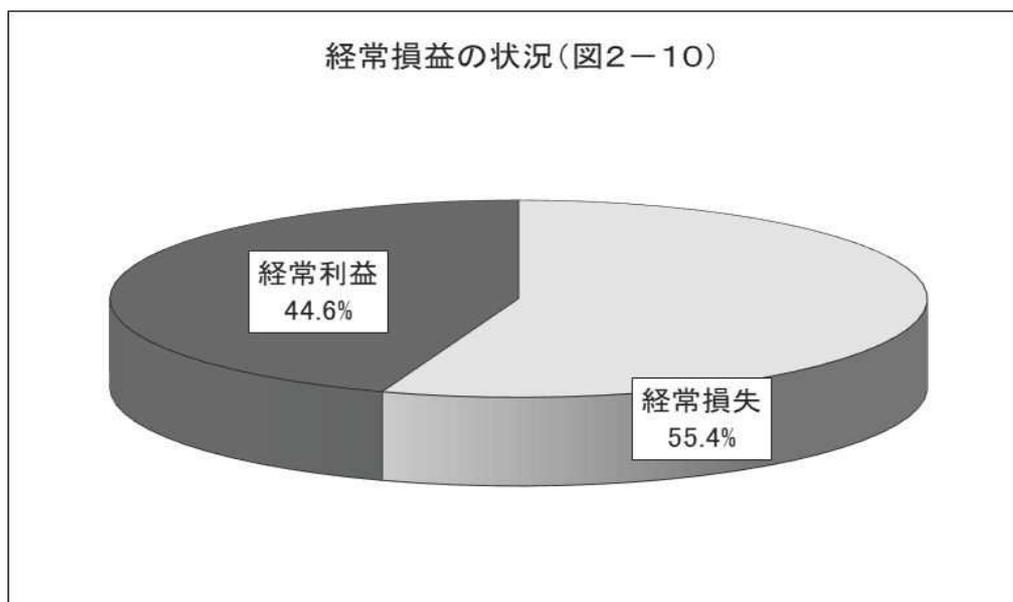
売上総利益対人件費比率(表2-13)

	令和2年	令和3年
全 体	51.65%	52.83%
水 産 物	61.16%	65.78%
青 果 物	46.40%	46.09%
花 き	55.85%	55.68%
食 肉	38.45%	43.59%

(12) 経常損益の状況

経常利益(黒字)を計上した業者の割合は44.6%、経常損失(赤字)を計上した業者の割合は55.4%と、前年に比べ黒字業者の割合が3.1ポイント下降した。

※ 前年調査 黒字:赤字 = 47.7% : 52.3%



前年と比較すると、花き及び食肉は黒字業者の割合が増加し、水産物及び青果物は黒字業者の割合が減少した。

経常損益の状況(表2-14)

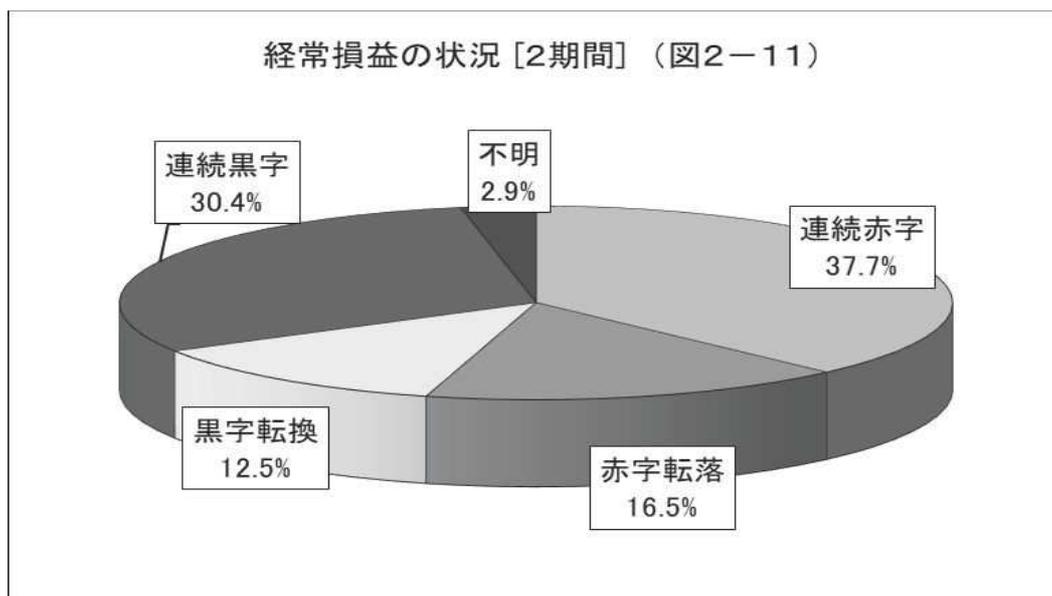
() 内は前年調査の数値

	経常利益 [黒字業者]	経常損失 [赤字業者]
全 体	44.6% (47.7%)	55.4% (52.3%)
水 産 物	35.4% (39.8%)	64.6% (60.2%)
青 果 物	55.3% (59.5%)	44.7% (40.5%)
花 き	57.9% (44.7%)	42.1% (55.3%)
食 肉	87.5% (83.3%)	12.5% (16.7%)

(13) 経常損益の状況(2期間)

経常損益が2期連続して黒字計上となった業者は30.4%となり、前年に比べると下降した。2期連続して赤字計上となった業者は37.7%となり、前年に比べると上昇した。また、黒字に転換した業者の割合は12.5%、赤字に転落した業者の割合は16.5%となった。

※ 前年調査 連続黒字35.0%、黒字転換9.6%、赤字転落23.4%、連続赤字26.3%、不明5.7%



取扱品目別にみると、青果物及び食肉で連続黒字業者の占める割合が最も多く、水産物では連続赤字業者の占める割合が最も多かった。また、花きでは連続黒字業者と黒字転換業者の占める割合が同じで、最も多かった。

経常損益の状況(2期間)(表2-15)

() 内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全 体	30.4% (35.0%)	12.5% (9.6%)	16.5% (23.4%)	37.7% (26.3%)	2.9% (5.7%)
水 産 物	22.2% (27.1%)	12.4% (9.7%)	17.3% (25.9%)	45.9% (31.3%)	2.2% (6.0%)
青 果 物	41.2% (45.8%)	10.4% (9.5%)	15.8% (18.3%)	27.8% (20.1%)	4.8% (6.3%)
花 き	28.9% (34.2%)	28.9% (10.5%)	15.8% (39.5%)	26.4% (15.8%)	0.0% (0.0%)
食 肉	75.0% (75.0%)	12.5% (8.3%)	8.3% (4.2%)	4.2% (12.5%)	0.0% (0.0%)

(14) 経常利益率の変化

経常利益率は、全体では0.26%と前年を下回った。取扱品目別にみると、花きでは上昇し、水産物、青果物及び食肉では下降した。

経常利益率(表2-16)

	令和2年	令和3年
全 体	0.38%	0.26%
水 産 物	△0.53%	△0.79%
青 果 物	0.82%	0.72%
花 き	0.12%	0.45%
食 肉	0.80%	0.45%

経常利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合を取扱品目別にみると、水産物、青果物及び食肉は下降した業者数が上昇した業者数を上回り、花きは上昇した業者数が下降した業者数を上回った。

経常利益率の変化(表2-17)

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	39.8%	57.3%	2.9%
水 産 物	39.0%	58.8%	2.2%
青 果 物	38.8%	56.4%	4.8%
花 き	57.9%	42.1%	0.0%
食 肉	41.7%	58.3%	0.0%

(15) 従事員1人当たり売上高

従事員1人当たり売上高は、前年に比べ全ての取扱品目で減少した。

従事員1人当たり売上高(表2-18)

	令和2年	令和3年
全 体	8,062 万円	7,785 万円
水 産 物	5,803 万円	5,267 万円
青 果 物	9,836 万円	9,799 万円
花 き	3,586 万円	3,366 万円
食 肉	19,313 万円	18,319 万円

従事員1人当たり売上高が増加した業者数と減少した業者数の割合を取扱品目別にみると、全ての品目において減少した業者数が増加した業者数を上回った。

従事員1人当たり売上高の増減(表2-19)

	増加した業者	減少した業者	不明
全 体	24.4%	72.7%	2.9%
水 産 物	19.1%	78.7%	2.2%
青 果 物	31.3%	63.9%	4.8%
花 き	34.2%	65.8%	0.0%
食 肉	37.5%	62.5%	0.0%

(16) 従事員1人当たり売上総利益

従事員1人当たり売上総利益は、前年に比べ全ての取扱品目で減少した。

従事員1人当たり売上総利益(表2-20)

	令和2年	令和3年
全 体	1,077 万円	1,020 万円
水 産 物	903 万円	799 万円
青 果 物	1,271 万円	1,266 万円
花 き	680 万円	631 万円
食 肉	1,510 万円	1,285 万円

従事員1人当たり売上総利益が増加した業者数と減少した業者数の割合を取扱品目別にみると、全ての品目において減少した業者数が増加した業者数を上回った。

従事員1人当たり売上総利益の増減(表2-21)

	増加した業者	減少した業者	不明
全 体	26.7%	70.4%	2.9%
水 産 物	23.0%	74.8%	2.2%
青 果 物	33.0%	62.2%	4.8%
花 き	34.2%	65.8%	0.0%
食 肉	16.7%	83.3%	0.0%

(17) 従事員1人当たり人件費

従事員1人当たり人件費は、前年に比べ全ての取扱品目で減少した。

従事員1人当たり人件費(表2-22)

	令和2年	令和3年
全 体	556 万円	539 万円
水 産 物	552 万円	526 万円
青 果 物	590 万円	583 万円
花 き	380 万円	352 万円
食 肉	581 万円	560 万円

従事員1人当たり人件費が増加した業者数と減少した業者数の割合を取扱品目別にみると、全ての品目において減少した業者数が増加した業者数を上回った。

従事員1人当たり人件費の増減(表2-23)

	増加した業者	減少した業者	不明
全 体	32.2%	64.9%	2.9%
水 産 物	31.1%	66.7%	2.2%
青 果 物	34.7%	60.5%	4.8%
花 き	26.3%	73.7%	0.0%
食 肉	33.3%	66.7%	0.0%